

平成20年度 環境装置等に関する動向調査研究

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

環境問題がクローズアップされている現在、環境問題に対する取組みは日本のみならず世界における直近の課題である。

ポスト京都議定書については目標数字が各国から提出され、欧州地域は高い目標設定により、環境問題対応へのアピールを行い、存在感を強めている。欧州は環境問題に関する取組みについて先進国であり、二酸化炭素削減・廃棄物処理・汚泥処理・リサイクル・太陽光発電・風力発電等の活動を推進している。特に非化石燃料資源から得られるエネルギーである再生可能エネルギーの導入については各国目標を設定し、実現に向けた研究、導入努力を行っている。最新の研究成果及び導入実績等の情報は模索段階の我が国にとり有力な情報である。

また、EUでは環境問題改善に向けて、EU委員会を中心に様々な提案を行っている。EU P指令、WEEE・RoHS指令、REACH規制等のEU指令が一例であり、2008年12月1日に予備登録終了したREACH規則には、10万以上の化学物質が登録された。このようなEU指令はEU地域と深い繋がりを持つわが国に多大な影響を与えるものであり、内外への情報提供は極めて重要である。

さらに、EU指令については、中国を始めEU外の地域においても同様の指令導入が検討・決定されており、影響の大きさを示している。特にEU指令を見本として日本を始めとした各国が、環境対応についての法整備等を行うケースがあり、早い段階での情報収集と対応が望まれている。

EU拡大に加え、昨今の金融危機のように予想外に変化する政治情勢も注視せねばならない。欧州地域への日系企業の進出は2008年現在右肩上がり、特に中東欧諸国を生産拠点・市場として位置付ける傾向が強まっているからである。一方、EU各国では賃金上昇、優秀な労働者不等の問題も水面下で発生しており、今後の新たな対象国発掘の観点からも当地域における情報収集の必要性が高まっている。

以上の理由から、本事業は、欧州・中東諸国、特に中東欧諸国における最新情報を入手し、広く情報提供を行うことを目的とし実施した。

(2) 実施内容・成果

オーストリア及びその他の西欧諸国、東欧諸国並びに中近東諸国、北アフリカ諸国の地域を対象として環境装置産業等に関する動向調査、各種情報収集、PR等の諸活動を行った。

地理的にも歴史的にも中東欧諸国の中心のゲートウェイとされるウィーンに駐在員を置き、広い視野を持って諸活動を行ったことで最新かつ的確な情報を入手することができた。

入手した情報は当月毎に報告書に取り纏めJETRO及び工業会会員、政府機関、現地

関連機関等に広く公表した。下記に主な内容を記す。

実施月	レポート（海外情報）の主な内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ●欧州を中心としたバイオプラスチックの現状 ～欧州バイオプラスチック会議 2007 に参加して～ ●欧州環境情報 ●欧州環境庁レポート ～適切な一般廃棄物管理が温室効果ガス削減へ効果～ ●企業訪問（オーストリア AQUACONSULT 社）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ●中・東欧諸国におけるバイオ燃料の現状（その1） ●欧州環境情報 ●中欧バイオマス会議 2008 に参加して ●EU 環境規制とトルコ国内法の対応状況
6月	<ul style="list-style-type: none"> ●中・東欧諸国におけるバイオ燃料の現状（その2） ●欧州環境情報 ●アイルランドの廃棄物処理事情と IRWM 展示企業紹介 ●欧州における知的財産権の現状
7月	<ul style="list-style-type: none"> ●ヨルダンの廃棄物事情 ～RecShow' 08 参加報告を中心に～ ●欧州環境情報 ●欧州における新大気質に関する指令について ●世界の炭素市場の現状～ポイントカーボン社 レポート「Carbon 2008」の要約より～
8月	<ul style="list-style-type: none"> ●欧州風力発電市場の現状と今後の予想 ～EWEA 発行レポート「Pure Power¹」より～ ●欧州環境情報 ●欧州再生可能エネルギー報告（2007 年度版）～「EurObserv' ER State of Renewable Energies in Europe」より～ ●廃棄物焼却施設紹介（オランダ アムステルダム市 Affval Energie Bedrijf）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ●CeMAT2008（イントラロジスティックス関連見本市）報告 ●欧州環境情報 ●欧州再生可能エネルギー報告（2007 年度版） ～「EurObserv' ER State of Renewable Energies in Europe」より～（その2） ●企業訪問（住友サイクロ社）

10月	<ul style="list-style-type: none"> ●EU と BRICs 諸国間の投資状況について ●欧州環境情報 ●欧州再生可能エネルギー報告（2007年度版） ～「EurObserv' ER State of Renewable Energies in Europe」より～（その3） ●欧州におけるバイオマス関連のインセンティブについて
11月	<ul style="list-style-type: none"> ●第33回中東協力現地会議に参加して（その1） ●欧州環境情報 ●IWA 2008参加報告（その1）～水部門とエネルギー～ ●EUにおける人口予測
12月	<ul style="list-style-type: none"> ●第33回中東協力現地会議に参加して（その2） ●IWA 2008参加報告（その2）～南東欧地域における水処理事情～ ●欧州の廃棄物焼却処理の現状 ～Renewable Municipal Solid Waste Barometerより～ ●欧州環境情報
1月	<ul style="list-style-type: none"> ●EU環境規制（REACH規制、EuP指令、自動車分野におけるCO2排出規制）の最新動向 ●IWA 2008参加報告（その3）～ウィーン市の排水処理施設見学～ ●中東欧諸国における金融危機の影響 ●欧州環境情報
2月	<ul style="list-style-type: none"> ●欧州における太陽エネルギー利用について（その1） ●アラブ諸国の環境問題の現状 ●WEEEおよびRoHS指令改正案について ●欧州環境情報
3月	<ul style="list-style-type: none"> ●欧州における太陽エネルギー利用について（その2） ●アラブ諸国の環境問題の現状（その2） ●欧州の地方自治体および企業の持続可能な社会への取組～エコプロフィット紹介 ●オマーンミッションに参加して ●欧州環境情報

2. 予想される事業実施効果

オーストリア及びその他の西欧諸国、東欧諸国並びに中近東諸国、北アフリカ諸国の地域を対象として環境装置産業の動向調査、各種情報収集、PR等の諸活動を行い、その情報を広く公表したことによって我が国産業機械産業の更なる技術発展と円滑な投資促進が図られる。